

第13回世界湖沼会議

～湖沼生態系の保全：世界の挑戦と中国の取り組み～

武漢宣言

2009年11月5日

水は地球上のすべての生命にとって不可欠なものである。必要な水質を有する淡水が十分に供給されることは、人間の健康、食の確保、産業及び経済活動などの前提となる。生命を支える生態系サービスを提供する水生及び陸生の生態系を維持していく上で淡水のもつ重要な役割は、人間の生存にとって基本的なものである。

淡水は自然が供給してくれる有限な資源であるが、時間的、空間的に均一に分配されているわけではない。その結果、世界中の多くの地域では、水資源の不足（干ばつ）または過剰（洪水）などの極端な問題が起きている。このような現状において、湖沼は地球上の様々な淡水資源の中で特に重要な意味を持っている。湖沼は地球表面上のすべての液体水の90%以上を占めており、農業、商業、輸送、娯楽、観光、さらに食料やエネルギー生産など広範な人間活動の支えとなっている。また湖沼は、多様な生命体の重要な生息地でもある。

我々が、第13回世界湖沼会議の機会に、「百の湖の都市」と呼ばれるこの武漢に集結し湖沼管理に関する問題や課題について討議するのは、このような湖沼の基本的な重要性の故である。

従って、今回の第13回世界湖沼会議における基本的なテーマは、“湖沼の汚染防止を強化し、汚染に喘ぐ湖に休息を与えることによって、彼らの生態系サービスをできる限り早く取り戻し、環境にやさしい社会の発展に貢献する”ことにある。

Preamble

序文

湖沼をめぐる現状と課題

我々、第13回世界湖沼会議の参加者は、

人間を含めこの地上におけるすべての生命体の生存は、必要な水質を有する淡水が十分に供給されることに依存していることを認識し、

湖沼は、この地球表面上において容易に入手できる液状の淡水の主要な水源であることを認識し、

気候変動と水に関する IPCC 技術報告書 IV の結論を踏まえ、湖沼の生態系資源を保全することは地球規模での気候変動の問題に取り組む重要な対策の一つであることに賛同し、

乏しい水供給、水質汚染、生態系の破壊、湿地の縮小などは、人間の生存と世界、特に発展途上国における持続可能な社会発展にとっての脅威であることを認識し、

非持続可能な消費行動や生産活動、湖沼の保全や管理には不適切な管轄体制や法制度、不十分な財源及び不完全な汚染防止技術は、環境破壊の増大によって引き起こされる困難や不確定性とならんで、湖沼及び湖沼流域とその資源を持続可能な利用を妨げる根本的な原因となっていることを認識し、

湖沼とその流域の均衡と活力を取り戻すためのビジョンを共有するとともに、自然の汚染防止に努めながら、人間と水環境との調和のとれた関係を促進させ、さらに社会と経済の持続可能な発展をはかるために自然のプロセスを最大限に活用し、

湖沼流域の生態系が提供する各種のサービス機能の保全と持続性を保持するために、中国をはじめ世界各地で最新の取り組みがなされていること、及びそれらの実践から得られる教訓は、地球規模での湖沼流域管理に有益な結果をもたらすことができると確信する。

したがって、これらの認識を共有した第 13 回世界湖沼会議の参加者及びすべての政府、地域、企業、水利用者、水供給者と水にかかわるすべてのステークホルダー（利害関係者）は、次の提言に示された行動をとることとする。

提 言

したがって、政府、地域、企業、水利用者、水供給者と水にかかわるすべてのステークホルダー（利害関係者）は以下の行動をとることとする。

- 厳しい環境保全対策の推進、流域一体的な持続可能な工業活動の取り組み、湖沼に流入する点源・非点源汚染の大幅な削減など、湖沼の再生のための総合的な戦略を立て、実施する。
- 持続可能な発展への鍵となり、湖沼汚染制御の重要な目的の一つである生態系サービスを保全する。

- 現在の世界的な経済情勢に鑑み、政府や市民社会、企業は、持続可能な湖沼生態系サービスを維持するために必要な財源を得るため資金を確保する新たな手段を模索すべきである。
- あらゆる国々において、市民の健康とよりよい生活のためには経済の発展は最重要項目で、湖沼流域のステークホルダーは、湖沼流域の生態系が発展を支える生態系サービスが維持できる範囲内で経済発展戦略を立て、かつ生態系の構造と機能を維持できるようにしなければならない。
- 湖沼流域の生態系サービス機能の低下を防ぐ主な手段として、厳しい環境保護基準を推奨し、湖沼流域への汚染物質の流入を減らすことで、発展途上国における維持可能な発展を促す。
- 政府、地域、企業と NGO を含むパートナーシップ、湖沼流域における生態系サービスの保全と維持という共通目標に向けた住民を主体とする取り組みを進めるための住民参加を促進する。
- 湖沼管理における改善と富栄養化防止技術の研究、そして湖沼流域の生態系回復を促進する業際的且つ革新的な技術の開発と実施を推奨する。
- 気候変動が起こりつつある現実を考慮して、湖沼管理と気候変動への適応を組み合わせ、低炭素経済、循環型経済とグリーンエコノミーを促進する。
- ILEC が築いてきた多くの国における成功体験に基づき、統合的湖沼流域管理 (Integrated Lake Basin Management: ILBM) を湖沼流域管理の第一の手段として採用し、そこに、制度、法律、経済、科学、情報を認識した上で、国際的、国内的、地域の湖沼管理における政策や対策に取り組む。
- すべての国が ILBM の概念をより豊かにするために地球的規模での協力関係を強化する中で、湖沼流域管理に関する知識ベースの拡充するとともに、世界各地での越境水域に関する取り組みと密接に関連付ける。